

芭蕉が立ち寄った？ 網掛・十六夜観月殿 ウォーキング



日本遺産になった千曲市の「月の都」ゆかりのスポットは、隣接する坂城町網掛^{あみかけ}地区にもあります。十六夜観月殿^{いざよい}です。松尾芭蕉はさらしなの中秋の名月を見た後、江戸に向かう途中、網掛にも立ち寄った可能性があります。建物のある十六夜山の眼前には千曲川が流れ、その向こうの山並みから上る月は見事で、古来和歌や俳句^{こおり}がいくつも詠まれてました。「更科紀行」にある「十六夜もまださらしなの郡かな」の句碑もあります。網掛の歴史・景観に浸りながら十六夜観月殿を堪能するウォーキングを開催します。

11月9日（日） 午前10時～正午

雨天中止

受付は午前9時半～

【案内】小宮山峰男さん（さかき歴史同好会網掛支部会員）

【集合】村上堂大井クリニック駐車場（坂城町網掛 1545-1）

【行程】昔の千曲川堤防→福泉寺→十六夜観月殿→駐車場

【定員】30人（先着順、要申込）

【参加費】500円（資料代、保険代含む）

【服装・持ち物】歩きやすい靴、山歩き用の杖、筆記用具等

★駐車スペースに限りがあるので乗り合わせでお越しください★

要申込（10月30日締切）

①メール：info@sarashina-r.com

名前・住所・電話番号を書いてお送りください

②電話：080（3027）9037（大谷善邦）



村上堂大井クリニック

主催：さらしなルネサンス 共催：さかき歴史同好会網掛支部